

狩猟とは

狩猟とは、一般的には狩猟が認められている期間において猟銃や罠などを使って狩猟対象鳥獣を捕獲することを指します。また、狩猟期間以外でも田畑を荒らす野生鳥獣を捕獲することや増えすぎた個体数を調整し生態系を維持・管理することを目的とした許可捕獲があります。野生鳥獣を捕獲する狩猟行為には、趣味としての狩猟、ジビエ(野生鳥獣の肉)を楽しむための狩猟、有害鳥獣駆除など、さまざまな目的を持った捕獲行為が含まれています。

狩猟免許所持者数 全国2位

環境省の令和3年度鳥獣統計情報によれば、長野県の狩猟免許所持者は8,361人と北海道に次ぎ2番目に多い県です。その背景には、森林が多く狩猟をする環境が身近にあること、農林業における鳥獣被害対策として狩猟免許の取得を目指す人が多いことなどが考えられます。しかし年代別では50代以上が約7割を占めており、今後ハンターの高齢化が一層懸念されています。40代以下の所持者数は2,542人で、北海道、東京都に次いで3番目に多く、わずかな差で兵庫県、愛知県、神奈川県、静岡県が続いています。



狩猟を楽しめる環境は身近に

県内には野生鳥獣が生息する多くの森林環境があります。こうした中には、野生鳥獣の捕獲が禁止されている鳥獣保護区もありますが、狩猟を楽しめる環境が身近な生活圏に存在しています。さらに佐久平国際射撃場や上小獵友会菅平射撃場など県内には8か所の射撃場があります。狩猟できる環境と射撃練習ができる環境が身近にあるということが大きな特徴ともいえます。

狩猟ができる時季

狩猟ができる期間は冬季に限られており狩猟期間(猟期)といえます。長野県における狩猟期間は11月15日から2月15日までとなり、農作物被害の多い二ホンジカとイノシシについては、わな猟に限り3月15日まで期間が延長されています。一方、市町村等における特定の獣種に対する有害鳥獣駆除や個体数調整等の許可捕獲の場合、捕獲期間や捕獲範囲が許可ごとに指定されています。

ハンターによる

全国規模の組織「獵友会」

獵友会は、市区町村単位に1つの支部が置かれていることが多く、地元地域で活動する狩猟者が任意で加入できる狩猟愛好団体です。獵友会は、狩猟者登録時に必要な「ハンター保険」の加入窓口にもなっています。組織としては、市区町村を単位とする支部獵友会があり、これらを取りまとめる地区・郡単位の獵友会、都道府県単位の獵友会があり、全国単



墓地、公道などの場所は、狩猟が禁止されているほか、公園や人の往来の多い場所などでも狩猟が制限されています。こうした狩猟禁止区域等を除く場所を「可猟区域」といいます。銃猟の場合、時間帯や住居が集合している場所等での使用制限がありますので、可猟区域内のすべての地域で自由に狩猟ができるとは限りません。わな猟の場合でも、垣や柵などで囲まれた土地、農作物のある土地では、土地所有者等の承諾を得る必要があります。なお、国有林内で狩猟する場合は、管轄する森林管理署にあらかじめ入林手続が必要となります。

狩猟デビューに向けた支援

小諸市では、狩猟免許や猟銃所持許可の取得・更新費用の一部を助成しています。また、長野県でも狩猟免許を所持して間もないかたを対象としたハンターデビュー講座を開催しています。大日本獵友会でも新規銃猟会員に登録された若手ハンターを対象に助成事業を展開するなど、各種支援策が拡充してきています。

ハンターに聴く

「狩猟の魅力」

猟期中は獣の痕跡をたどって野山を駆け巡り、シーズンオフは農作物被害をもたらす有害鳥獣の捕獲や射撃技能の向上に努めている小諸市のガバメントハンター。地元獵友会にも所属し、狩猟の世界に身を置く二人に、その魅力を聴きました。

「狩猟」というと馴染みが薄い方も多いかもしれませんが。しかし生態系保全、農林業被害の軽減などの観点から、重要な役割を持っています。本特集では最後に、狩猟に関する情報をお伝えします。また小諸市の獵友会にも所属し、ガバメントハンターとして活躍するお二人からも、狩猟のあり方や魅力について話を伺いました。

狩猟への途 The Way of Hunting

位で組織構成する大日本獵友会があります。

狩猟期間中は、県内外から狩猟者が山中に入猟します。残念ながらその中には、マナーや態度の悪い狩猟者を見かけることも少なくありません。狩猟を安全に楽しむためにも獵友会等に入り、地域の狩猟者とコミュニケーションを深めながらマナーや技術、狩猟者としての人格を醸成していくことが大切です。獵友会には、そうしたマナーと人格に優れた狩猟者を育成していく責任があると云えます。

狩猟を始めるために必要な資格、免許、手続等

猟法ごとに取得が必要

「狩猟免許」

狩猟をするためには、鳥獣保護管理法に基づき「狩猟免許」の取得が必要です。狩猟免許は、猟法(猟具別の捕獲方法)ごとに網猟、わな猟、第一種銃猟(装薬銃)、第二種銃猟(空気銃)と取得できる免許の種類が分かれています。長野県では、年4回、狩猟免許試験が各会場で開催されています。取得には受験手数料やテキスト、医師の診断書等を合わせて14,000円程度の費用が見込まれます。

猟銃を所持するために必要な「猟銃等所持許可」

猟銃等(装薬銃又は空気銃)を所持するためには、都道府県公安委員会から猟銃等所持許可証の交付を受ける

児玉翔さん(南ヶ原)

■狩猟で捕獲した獲物は自ら捌くのか
所属するハンティングチームの先輩から丁寧に解体、下処理、調理法、保存法などを教えていただき、今では一人で解体から調理までをこなしています。

■ハンターデビューから

2年目を終え学んだことは
狩猟では、獣道やフィールドサインを見て獣の存在をイメージしながら山を歩くよう心掛けています。季節の移ろいや小さな変化に目を向けることの大切さを学びました。そして狩猟者、地元の方など狩猟は人と人との関係性が大きく影響しますので人間関係の大切さも学びました。

■狩猟に興味を持っている方へ

ベテランハンターの皆さんから知識と技術を教えていただき、地域の狩猟文化の活性化や野生鳥獣対策を維持していくためには、協力し合える若手ハンターが1人でも多く必要です。狩猟に興味をお持ちの皆さま、ご連絡をお待ちしています！

櫻井 優祐さん(御代田町)

■猟期中はどのようなスタイルで狩猟をしているのか

猟期中は毎週末出猟しています。シカ、イノシシ、クマを対象とした大物猟です。30代中心のチームに所属し、地元ベテランハンターと合同で協猟するスタイルです。ベテランから学ぶことはたくさんあります。

■櫻井さんの人生にとって狩猟とは
趣味の1つであり、生きがいです。銃を担いで山を進み、仲間と共に自



必要があります。長野県における猟銃等所持許可は、猟銃等初心者講習会と、教習射撃を受講した後、銃砲所持許可申請手続へと段階を経て進んでいきます。

猟銃は、狩猟・標的射撃・有害鳥獣駆除の明確な用途と使用目的が必要で、そして、許可できる人物かどうか厳格な身辺調査も実施されます。

猟銃を所持するための一連の手続に約10万円程度の費用が見込まれます。このほかにも装弾ロッカーや猟銃等を自宅保管する場合に設置が必要なガンロッカーの購入が別途必要ですが、これらの設備や猟銃等は、基準を満たすのであれば、銃砲所持者等の個人から中古の物を譲り受けできる場合もあります。すべての手続を終え許可が下りるまでに要する期間として、6ヵ月程度余裕を持って計画的に進めていくことが大切となります。

グループ猟をするなら「アマチュア無線技士」

グループで猟(巻き狩り等)の場合、山中でのさまざまな情報共有や

然と向き合う1日は、本能が研ぎ澄まされ、かけがえのない時間です。

■狩猟に興味を持っている方へ

佐久地域には若手のプロハンターとして活躍している方や地元山に精通したベテランハンター、トップレベルの射撃選手など、狩猟や射撃を追求する優れた人材がたくさんいます。狩猟や射撃に興味を持ち、協力し合える仲間が増えたら嬉しいですよ。

- 狩猟免許・狩猟者登録、鳥獣管理制度等に関すること
佐久地域振興局林務課 ☎0267-63-3111 (代表)
- 佐久地域の獵友会支部への取り次ぎ・ハンター保険等に関すること
北佐久連合獵友会・南佐久地区獵友会事務局 (佐久合同庁舎内)
☎0267-63-3111 (代表)
- 猟銃等所持許可に関すること
お住まいの地域を管轄する警察署の生活安全(銃砲担当)窓口まで
- 小諸市の鳥獣の狩猟・許可捕獲、農作物の鳥獣被害等に関すること
小諸市農林課林務係 ☎0267-22-1700 (代表)



(提供: Wedge)